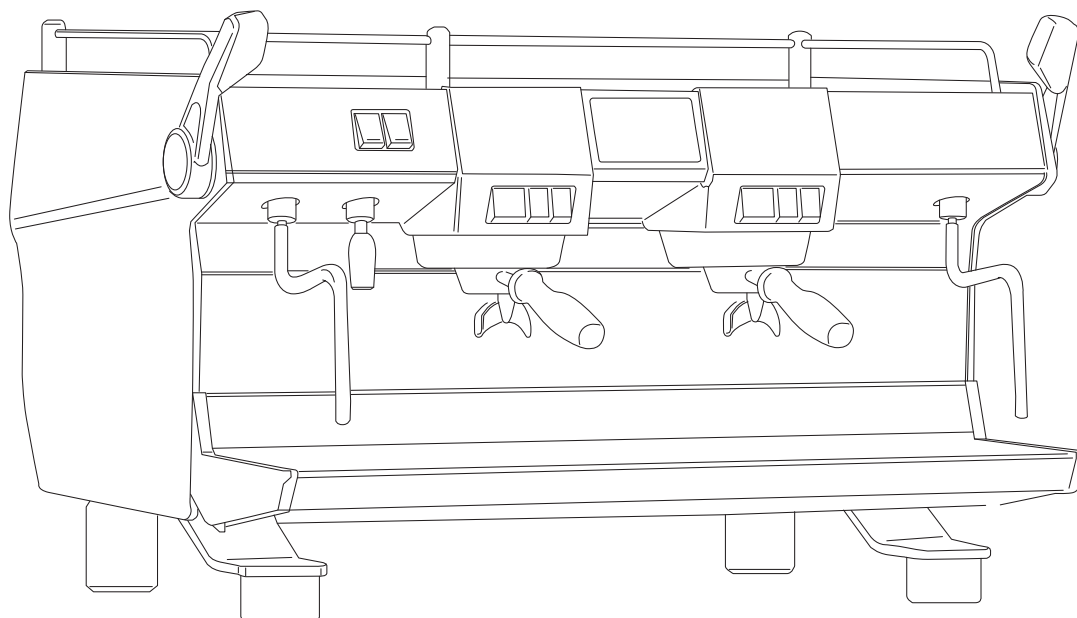


エスプレッソコーヒーマシン

# RS1

## 取扱説明書



### 目次

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 安全上の注意事項           | P1 ~ 2    |
| 各部の名称              | P3        |
| 設置                 | P4        |
| 操作方法               | P5 ~ 7    |
| 立ち上げ手順             | P5        |
| エスプレッソコーヒー抽出方法     | P5        |
| コーヒー抽出量の設定         | P6        |
| 熱湯の給湯方法            | P6        |
| 湯量の設定              | P6        |
| 蒸気の取り出し方           | P7        |
| I・STEAM使用方法        | P7        |
| XCELCIUS設定         | P8        |
| プログラム              | ● P9 ~ 10 |
| バリスタ設定モード          | P9 ~ 10   |
| ●マシンの時刻などの設定が行えます。 |           |
| マネージャーメニュー設定モード    | P11 ~ 12  |
| ●OOOOOOなどの設定が行えます。 |           |
| テクニカル設定モード         | P13 ~ 15  |
| ●全てのプログラム設定が行えます。  |           |
| 設定方法               | P16 ~ 17  |
| USBからマシンへファイルの移動方法 | P16       |
| 壁紙の設定方法            | P16       |
| スクリーンセーバーの設定方法     | P17       |
| 毎日の清掃              | P18       |
| 終業時手順              | P19       |
| 仕様                 | P20       |

このたびは、RANCILIO RS1を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解していただいた上で正しくお使いいただき、いつでも取り出せる所に、保管しておいてください。

# 安全上の注意事項

●ご使用になる前に この安全上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

表示内容は次の通りです。

**⚠ 警告** 守られないと、重大な人身事故や死亡事故につながる可能性のある事柄。

**⚠ 注意** 守られないと、人に傷害を与えたり物損事故につながる可能性のある事柄。

## ⚠ 警告

**据付工事は、お買い上げ店または専門業者に依頼すること**

ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

**アース工事を必ず行うこと**

アース工事はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

アースが不完全な場合は、感電の原因になります。(電気工事士による第3種接地工事が必要ですので、電気工事店に依頼してください。)

**本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること**

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。

**電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回線を使用すること**

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、感電や火災の原因になります。

**屋外で使用しないこと**

雨水のかかる場所で使用されますと、漏電や感電の原因になります。

**製品に直接水を掛けないこと**

漏電、ショート、感電、錆、故障の原因になります。

**機械内部の電気装置や配線に触らないこと**

ヤケドや感電のおそれがあります。

**電源コードを傷つけないこと**

加工したり、引っ張ったり、束ねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

**漏電遮断器が「OFF (切)」に作動したときは、お買い上げ店に連絡すること**

無理にレバーを「ON (入)」にすると、感電や火災の原因になります。

**電源プラグはほこりが付着していないか定期的に確認し、根元まで確実に差し込むこと**

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。

**濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、各スイッチを操作しないこと**

感電の原因になることがあります。

**異常時はメインスイッチを「OFF (切)」にし、電源プラグを抜くか(電源プラグを使用の場合) 専用電源を切って、すぐにお買い上げ店に連絡すること**

異常のまま運転を続けると、感電や火災の原因になります。

**熱湯ボタンおよびスチームノブを操作するときは、熱湯ノズル、スチームノズルがドリフトトレイに向いているか確認すること**

**また、顔や手などに向けないこと**

ヤケドの原因になります。

**顔や手、または他人にスチームノズルを向けないこと**

ヤケドの原因になります。

**容器にコーヒー、スチーム、熱湯を取り出す場合、容器はドリフトトレイ上に置くこと**

持ったまま取り出すと、ヤケドの原因になります。

**修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理は行わないこと**

異常動作をしてケガをしたり、修理に不備があると感電や火災の原因になります。

**改造は絶対に行わないこと**

改造されると、水漏れや感電、火災の原因になります。

**移設は専門業者か、お買い上げの店に相談すること**

据え付け不備があると、水漏れや感電、火災などの原因になります。

**廃却は専門業者か、お買い上げの店に依頼すること**

放置しますと、幼児などがケガをする原因になります。

# 安全上の注意事項



床面が丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること

据え付けに不備があると、水漏れや転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

本機の周囲は、壁およびものから 10cm 以上空けること

熱がこもると電子制御部品に影響をおよぼし、故障の原因になることがあります。

直射日光の当たる所や、周囲の温度が 32℃以上の高温になる所には据え付けないこと

電気部品の故障の原因になります。

水をこぼしても良い所に据え付けること

使用中にコーヒーや湯、蒸気などが周囲に飛び散ることがありますので、濡れると不都合なところでは、防水処理をしてください。

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置かないようにすること

スイッチの火花などで引火し、発火の原因になることがあります。

熱器具の近くに据え付けたり、機械の上に熱器具を乗せたりしないこと

熱で本体が損傷して故障の原因になります。

凍結の恐れのある場所へは据え付けないこと

機械の故障の原因、および給水管の破裂から浸水し、周囲を濡らす原因になることがあります。

凍結の恐れのある場所への据え付けの場合は、お買上げ店にご相談ください。

本機の上に重量物や水を入れた容器を置かないこと

落下してケガをしたり、こぼれた水で電気部品の絶縁が悪くなり、漏電の原因になることがあります。

製品にもたれたり、乗ったりしないこと

ヤケドや製品転倒によるケガの原因になります。

給水に使用する水は、必ず飲料水を使用すること

他の水は、健康障害の原因になることがあります。

水道圧力は、流れている状態で 1.5kg/cm<sup>2</sup>以上で使用する

水圧が低いと、機械は正常に作動しません。1.5kg/cm<sup>2</sup>以下の場合はお買上げ店にご相談ください。

断水の時はメインスイッチを「OFF（切）」にし、水道栓を閉めること

開けておくと通水時、“赤水”が発生し、不衛生な水が機械に給水されます。

断水後や定休日明けの使用前には、必ず機械内部の水を入れ替えること

水の腐敗から、健康障害の原因になることがあります。

スチームノズルは、装着してある断熱ゴム以外の金属部分に直接手を触れないこと

ヤケドの原因になることがあります。

一日の営業終了後は、必ず接液部分および部品は洗浄すること

洗浄しないと雑菌が繁殖し、健康障害の原因になることがあります。

自動洗浄以外の掃除や点検の時は、必ずメインスイッチを「OFF（切）」にして、専用電源も切ること

感電したり、ヤケドの原因になることがあります。

電源プラグを使用している場合、プラグを抜くときに電源コードを持って抜かないこと

必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災の原因になります。

付属の専用液体洗浄剤を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること

素手で取り扱うと、手荒れ原因になることがあります。

営業終了後など長時間作業者がいない間は、メインスイッチを切って電源を「OFF（切）」にして電源プラグをコンセントから抜いて水道の元栓を閉めてください。

発熱や発火、漏水の原因になることがあります。

排水管に詰まりがないか始業時に点検を行うこと

排水管が詰まると、漏水から周囲を濡らす原因になることがあります。

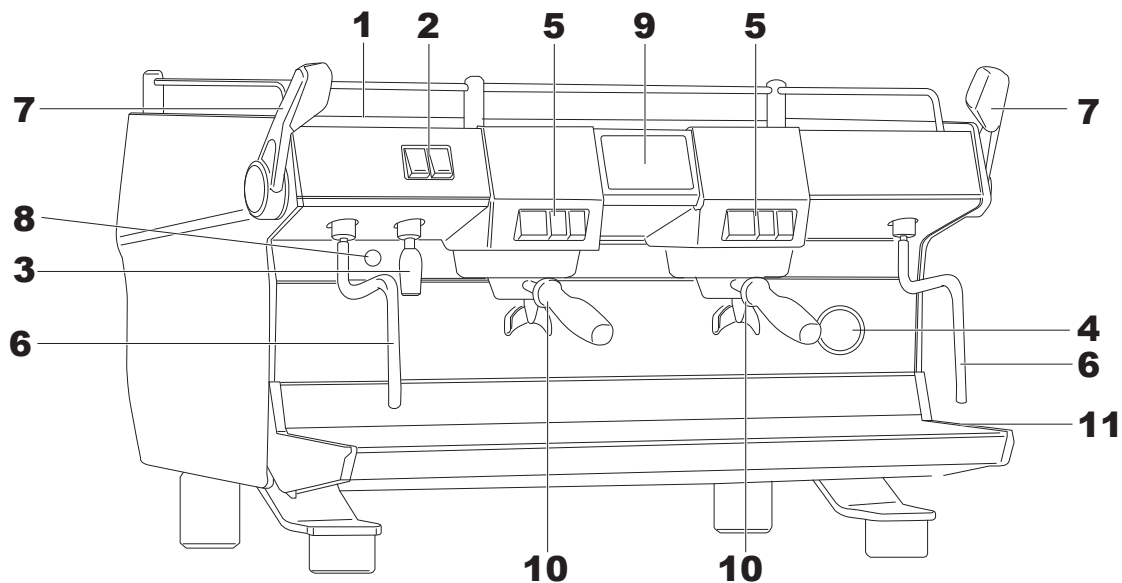
漏電遮断器は月に 1 回、動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になることがあります。

本機を他に売ったり、譲渡されるときには、新しく所有者となる方が安全正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つところにテープ止めること

# 各部の名称

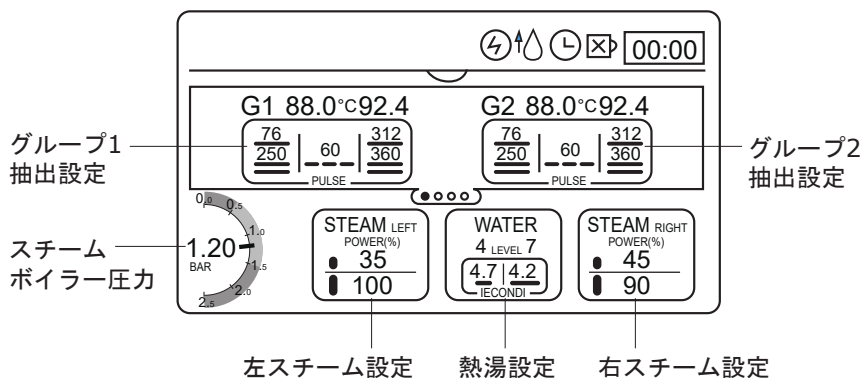
## 本体



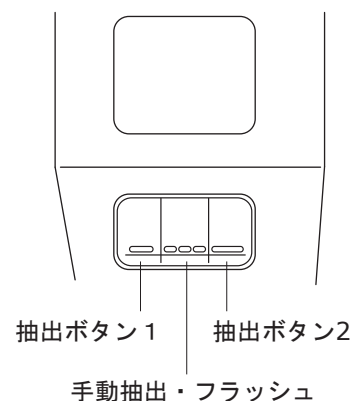
- |            |           |              |
|------------|-----------|--------------|
| 1 カップウォーマー | 5 抽出ボタン   | 9 タッチパネル     |
| 2 熱湯ボタン    | 6 スチームノズル | 10 フィルターホルダー |
| 3 熱湯ノズル    | 7 スチームレバー | 11 ドリフトレー    |
| 4 圧力計      | 8 電源スイッチ  |              |

## 操作ディスプレイ

- ☐ カップウォーマーON/OFF    ☐ ボイラー給水    ☐ カップウォーマー加熱レベル  
☐ ボイラーヒーターON/OFF    ☐ ボイラー加熱    12:41 AM 時刻表示  
☐ クリーニング    ※ボイラー（給水中・加熱中）・カップウォーマーは動作時にアイコンが点灯します。



## 抽出ボタン



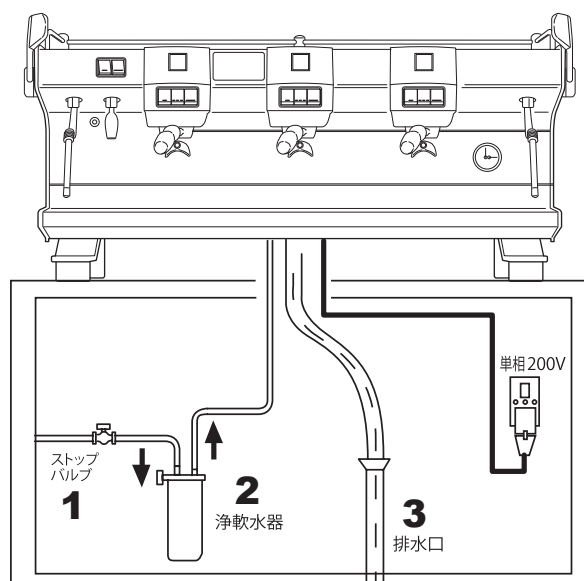
## 付属品チェック

下記のパーツが入っているか確認して下さい。( )内の数字は、3連用のパーツ数です。

- 一人用フィルターホルダー……………1 (1)    •給水用メッシュチューブ……………1 (1)    •洗浄ブラシ……………1 (1)
- 二人用フィルターホルダー……………2 (3)    •排水用ホース……………1 (1)    •接続ニップル……………1 (1)
- クリーニング用フィルター……………2 (3)    •ホースバンド……………1 (1)
- タンパー……………1 (1)

## 設置例

- 1** 接続前に、ストップバルブより水を十分に流出させ、水道管内の異物を取り除いてください。
- 2** 浄軟水器の OUT 側を接続する前に浄軟水器に水を通してカートリッジ内の微粉を取り除いてください。
- 3** 排水ホースはできるだけ最短にして、トラップが発生しないようにしてください。

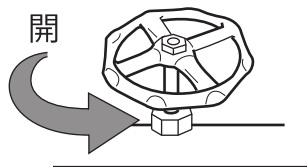


※浄軟水器の設置スペースをご用意ください。

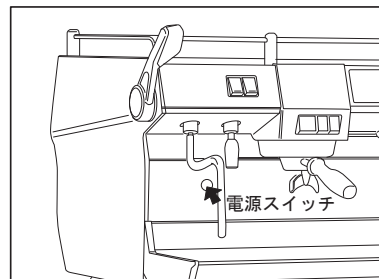
# 操作方法

## 立ち上げ手順

- 1 水道の元栓を開いてください。
- 2 電源スイッチを ON にしてください。

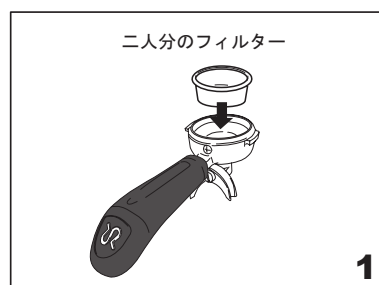


- 3 ボイラー内の給水が完了するまで、お待ちください。
- 4 圧力が約 1 bar になると抽出可能です。



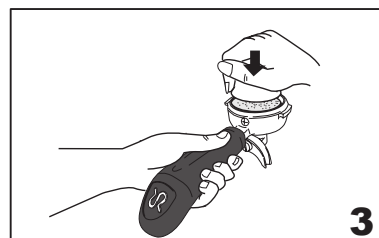
## エスプレッソコーヒー抽出方法

- 1 フィルターホルダーが冷たいときは抽出したコーヒーがぬるくなりますので、コーヒー抽出ボタンを押して熱湯だけを出し、フィルターホルダーをあらかじめ温めてください。  
(フィルターはフィルターホルダーに付けておいてください。)



- 2 フィルターホルダーのフィルター内にコーヒー粉を入れてください。

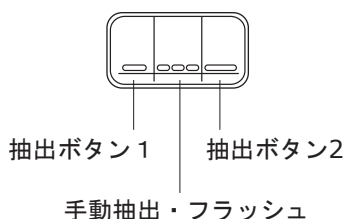
- 3 タンパーでコーヒー粉を軽く押さえて平らにしてください。  
フィルターのフチに付いた粉を手で拭き落としてください。



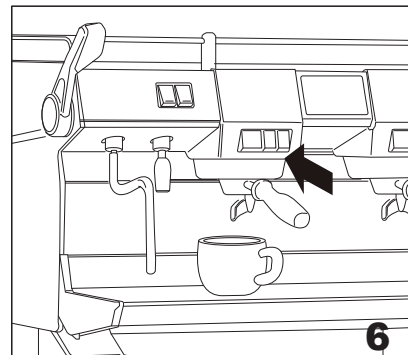
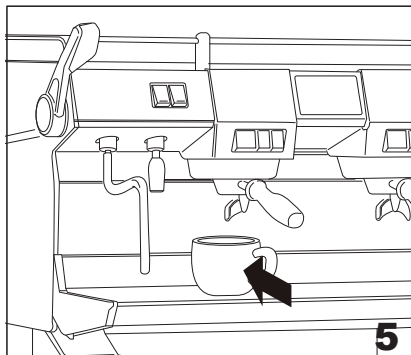
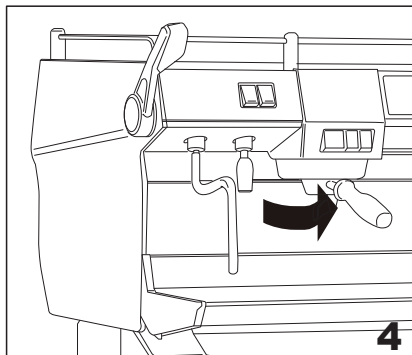
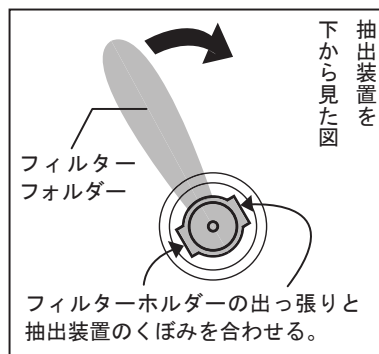
- 4 フィルターホルダーの出っ張りと抽出装置のくぼみを合わせて、反時計回りに回してフィルターホルダーを取り付けてください。

- 5 抽出口の下にカップを置き、お好みの抽出ボタンを押してください。

手動抽出ボタンを押すと自動では停止しないので、もう一度手動抽出ボタンを押して抽出を停止させてください。



- 6 設定された量のコーヒーが抽出されると、自動的に抽出が停止します。

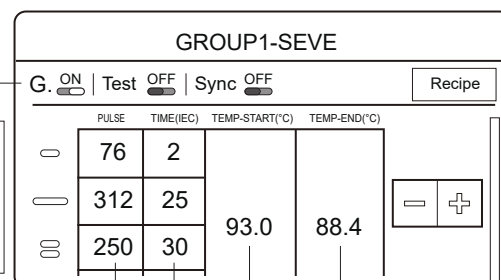
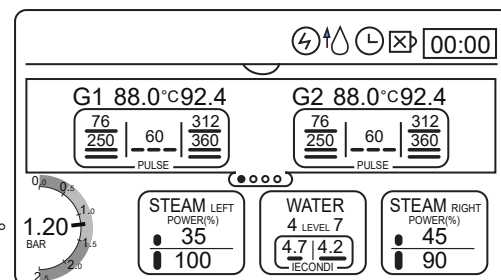


## コーヒーの抽出量設定

- 1 グループ1またはグループ2の抽出量設定画面をタッチします。
- 2 粉を入れたフィルターホルダーを抽出口にセットしてください。
- 3 抽出の下にカップを置いてください。
- 4 設定量を変更したい抽出ボタンを押してコーヒーを抽出してください。
- 5 お好みの量まで抽出して、再度抽出ボタンを押してください。
- 6 抽出開始温度と抽出終了温度を＋－を使用して調整してください。  
温度範囲：85度～100度  
初期温度と終盤温度の差は± 5℃です。

各設定の数値をタッチして  
＋と－で変更も可能です。

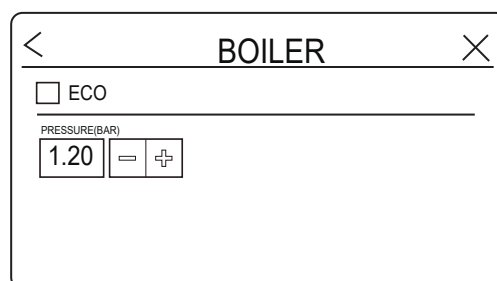
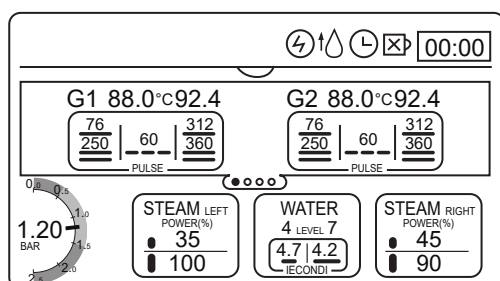
G. / ON :グループの使用可能  
OFF :グループの使用不可  
Test / ON :設定画面でのテスト抽出可能  
OFF :設定画面でのテスト抽出不可  
Sync / ON :設定値がグループ2と連動  
OFF :設定値が連動しない



パルス値 抽出時間 開始温度 終了温度

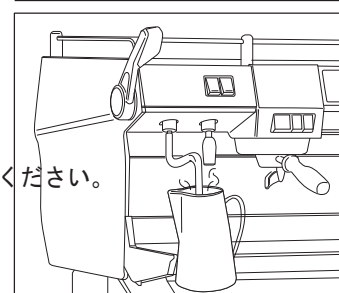
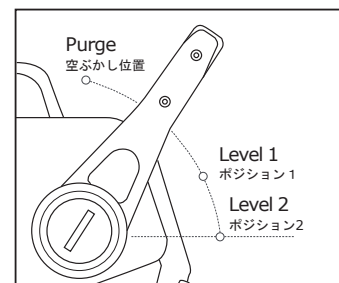
## スチームボイラー設定

- 1 スチームの圧力表示をタッチしてください。
- 2 ＋と－を使用して圧力を変更してください。  
増減値：0.5bar  
最大1.4bar～最小1.2bar



## 蒸気の取り出し方

- 1 スチームノズルを、あらかじめドリフトトレイに向けておいてください。
- 2 スチームレバーを空ぶかし位置へ上げて、水抜きをしてください。  
この時、熱湯が勢い良く飛び出しますのでご注意ください。
- 3 蒸気が出るようになれば、いったんスチームレバーを戻して閉じ、スチームノズルを飲料の入った容器に入れてください。
- 4 再度、スチームレバーを設定したポジションへ下げてください。  
使用後は、スチームレバーを戻して閉じ、容器をノズルからはずしてください。
- 5 スチームノズルに付着した液を、水でしぼった清潔な布で拭き取ってください。
- 6 その後もう一度スチームレバーを空ぶかし位置へ上げて、数回蒸気を出す動作を行ってください。  
そのままにしておきますと、ノズル内に付着した液（ミルクなど）が固まり不衛生ですし、ノズル内が詰まり、故障の原因になることがあります。

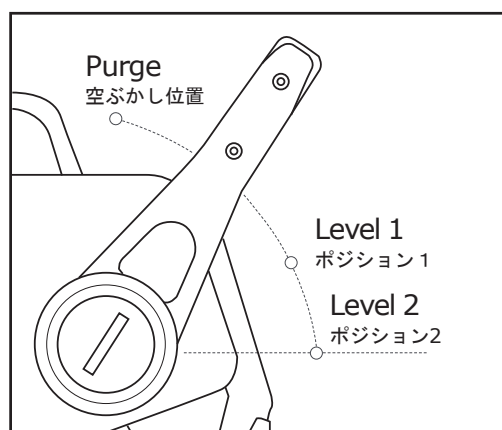
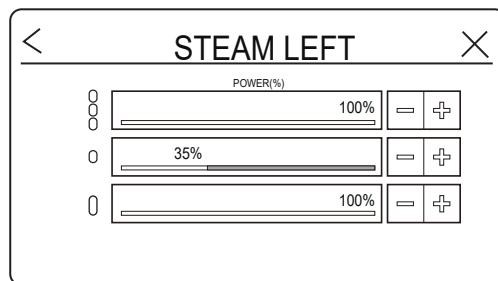
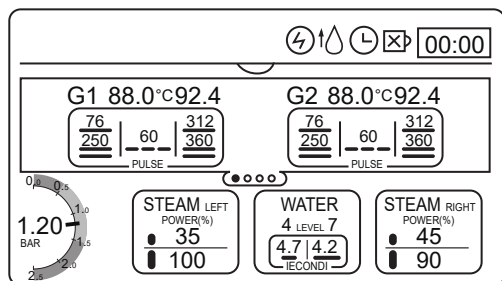




# 操作方法

## スチームワンド設定

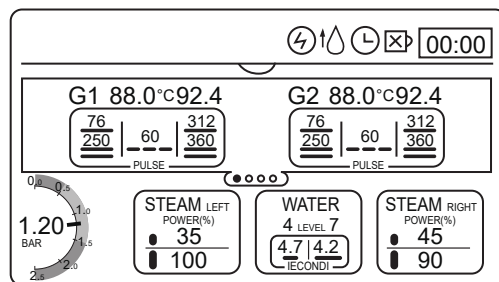
- 1 スチーム左またはスチーム右をタッチしてください。
- 2 +と-をタッチしてスチームの強さを調整してください。



## 熱湯設定

### 熱湯量の変更

- 1 水の範囲をタッチしてください。
- 2 設定したい熱湯ボタンを押してください。
- 3 適量を抽出後、もう一度熱湯ボタンを押して止めてください。
- 4 実際に出た量が記録されます。

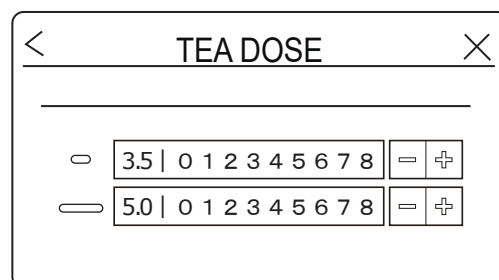


時間をタッチしてください

白く光りましたら+-を押して時間を変更してください

### 熱湯温度の変更

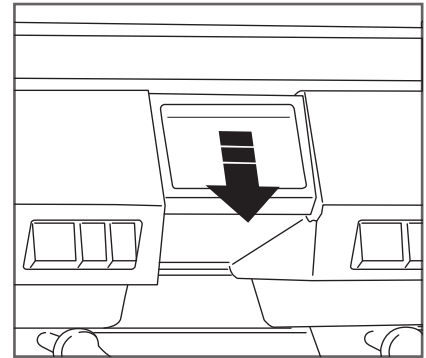
- 1 設定したい熱湯ボタンの温度レベルをタッチしてください。
- 2 白く光りましたら+-を押して温度レベルを変更してください。  
※温度レベルにより時間の下限値が決まります。





## バリスタ設定

- 1 電源の入った状態で、タッチスクリーンを下にスワイプすると選択画面に切り替わります。
- 2 バリスタ設定モードに入ります。



### Cup warmer

カップウォーマーのON/OFF



### Boiler heating

ボイラー加熱のON/OFF



### Control panel cleaning

コントロールパネルのクリーニング

40秒間ディスプレイがブロックされます。



### Cleaning

クリーニング

クリーニングモードに入ります。



### Group test

グループテスト

抽出テストができます。



### Counter

カウンター

カウンターを表示します。



### Auto power

オートパワー機能を起動する

オートパワー機能を起動します。



### Renew Boiler Water

ボイラー水入れ替え

ボイラー内水入れ替えマニュアル実施画面。  
ボイラー内の水を排出し、給水後再加熱します。  
※このモードはボイラー圧力が0 barの時に行ってください。



### USB

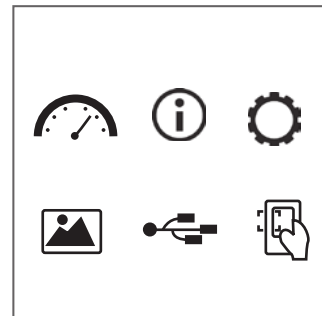
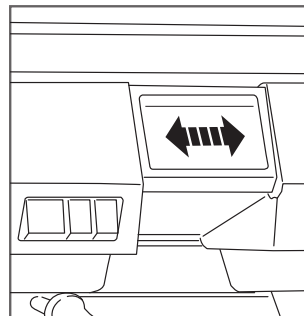
USBへ出力

履歴をUSBへ出力

# プログラム

## マネージャーメニュー設定

- 1 電源の入った状態の通常待機画面で、  
タッチスクリーンを左右にスワイプすると  
マネージャーメニュー設定画面に切り替わります。  
パスワードを設定している場合は、パスワードを  
入力してください。



マネージャーメニュー設定画面



Performance

### Brewing analysis

抽出履歴表示します。

抽出一分析 抽出チェック

### Group performance

1024パルス抽出される時間を測定します。

グループパフォーマンス テストグループ

### Standard Quality Espresso

標準品質エスプレッソのON/OFF

標準品質エスプレッソ

### Renew boiler water

ボイラー内の水の交換予定を設定します。（次回の再起動時に実行）

ボイラー水補給

### Softener

オプション

ソフトナー

### Level sensor

ボイラー内の水位センサーのカバレッジを表示します。

レベルセンサー

### Sensor

ボイラー内圧力とグループの温度を表示します。

アナログセンサー



インフォメーション

### USB copy

マシン情報をUSBにコピーします。

USBにコピー

### Counter

各グループやスチームの使用回数を表示します。

カウンター

### Lifetime counters

各グループやスチームの使用回数を表示します。

寿命カウンター

### Cleaning counter

クリーニング回数を表示します。

クリーニングカウンター

### System

各システムのバージョンを表示します。

システム

### Error history

エラー履歴を表示

エラー履歴



## Setting

### Illumination

照明設定

カップステーション(抽出グループ下のライト)のON/OFF

### Language

言語設定

表示言語を選択できます。

### Date & Time

日時設定

日付・時刻の設定ができます。

### Timer

タイマー設定

#### ON / OFF

自動 ON/OFF

自動電源 ON/OFF 機能の設定ができます。

#### Turn On Time

起動時間設定

起動時間を設定します。(曜日毎の設定が可能)

#### Working Hours

ワーキングアワー設定

稼働時間を設定します。

※右記項目を設定する場合は、チェックボックス☑をタップしてください。

### Manager password

管理者パスワード

ON/OFF パスワード入力のON/OFF

SET パスワードの設定・変更

### Block function

パラメーターをブロック

立ち上げ時の画面に表示されるパラメーターを設定します。

### Shortcuts

ショートカット

バリスタメニューに表示させる項目の選択します。



## スクリーン

### Screensaver

スクリーンセーバー設定

スクリーンセーバーのON/OFF設定をします。

### Screensaver

スクリーンセーバー設定

スクリーンセーバーの詳細を設定します。

### Group display

コントラストとバックライト

コントラストとバックライトの設定をします。



## USB

パラメーター、レシピ、エラー履歴、カウンター、画像をマシンへ読み込みまたはUSBに書き込み



## snap & share

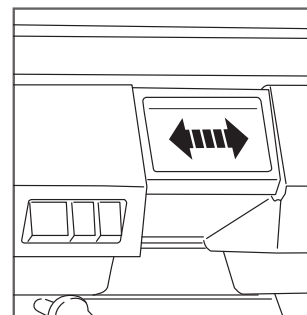
カウンター、エラー履歴をスマートフォンへ読み込み ※専用アプリ

# プログラム

## テクニカルメニュー設定

- 1 電源の入った状態の通常待機画面で、タッチスクリーンを左右にスワイプするとテクニカルメニュー設定画面に切り替わります。
- パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

全てのプログラムが設定できます。



 インフォメーション

### USB copy

マシン情報をUSBにコピーします。

USBにコピー

### Counter

各グループやスチームの使用回数を表示します。

カウンター

### Lifetime counters

各グループやスチームの使用回数を表示します。

寿命カウンター

### Cleaning counter

クリーニング回数を表示します。

クリーニングカウンター

### System

各システムのバージョンを表示します。

システム

### Error history

エラー履歴を表示

エラー履歴



### Illumination

カップステーション(抽出グループ下のライト)のON/OFF

照明設定

### Language

表示言語を選択できます。

言語設定

### Date

日付・時刻の設定ができます。

日時設定

### Timer

#### ON / OFF

自動 ON/OFF

自動電源 ON/OFF 機能の設定ができます。

タイマー設定

#### Turn On Time

起動時間設定

起動時間を設定します。

※右記項目を設定する場合は、チェックボックス☑をタップしてください。

#### Working Hours

ワーキングアワー設定

稼働時間を設定します。

(曜日毎の設定が可能)

### Manager password

管理者メニューを表示する際のパスワードを設定します。

管理者パスワード

### Block function

立ち上げ時の画面に表示されるパラメーターを設定します。

パラメーターをブロック

### Shortcuts

バリスタメニューに表示させる項目の選択します。

ショートカット



## Settings

### Continuous delivery

ON/OFF

コンティニュースデリバリー

### Flash

手動ボタンでグループをフラッシュします。

フラッシュ

### 4 doses

ON/OFF 長押しによる抽出を可能にします。

4 抽出設定

### Units

ユニット

圧力、温度、水の硬度を設定できます。

圧力 : bar or PSI 表示の選択  
温度 : 摂氏 or 華氏 表示の選択  
水の硬度 : fKM or gpg 表示の選択

### Reduced power

ON/OFF

シーケンス設定

### Temperature offset

各センサーのオフセット値を選択します。

オフセット

### Softener

軟化剤再生

浄水器の種類、能力を設定できます。

### Maintenance

メンテナンス

メンテナンスに関する設定ができます。

メンテナンスお知らせ設定ができます。  
セット後の何ヶ月後に表示させるか

### Renew BoilerWater

自動ボイラー水入替え

自動でボイラー水入替有効の設定ができます。

### Technician Password

技術員パスワード

パスワードのON/OFF切替ができます。

### Manager Password

マネージャーパスワード

パスワードのON/OFF切替ができます。

### Change Manager Password

マネージャーパスワード変更

マネージャーパスワードの4ケタの設定ができます。

### Serial Number

シリアルNo

シリアルナンバーが確認できます。

10ケタの数字を入力します。10ケタ未満の場合「00000000」と表示されます。

### Snap and share

Emailを登録できます。

### Softener by Manager

浄水器の管理

ON/OFF

### Demo mode

デモモード

ディスプレイのみ電気を供給できます。

# プログラム



## DIAGNOSTIC

一定時間信号を送り、各部品が正常に作動するか確認できます。

### Valves

電磁弁

### Heating Elements

ヒーター

### Buttons And LEDs

ボタン×LED

### Illumination

抽出部LEDとマシン背面のLED（赤・緑・青）

### Flowmeter

フローメーター

### Level Sensor

水位センサー

### Safety Electrical Box

電気BOX

### Control box switch

コントロールボックススイッチ

### Sensor

センサーXCZ

### Tecnical Counters

テクニカルカウンター ポンプや電磁弁の稼働回数が確認できます。

### Audio

オーディオ

### Xcelsius Display

エクセルシウス温度設定

### Display Xcelsius

エクセルシウス画面

### Temperture Control Panel

操作パネル温度

### Pump

ポンプ



## Cleaning

### Reminder

リマインダー

リマインダーのON/OFF

☐ Block brewing  
チェックを入れると抽出が停止します。



## Reset

### First start

初回起動

初期スタートアップを可能にする機能。

### Factory reset

ファクトリーリセット

カウンターとエラー履歴の削除、パラメーターがリセットされます。

### Hard reset

ハードリセット

出荷時の状態にリセットします。（USBが必要になります）



## Connectivity

### IDS cash system

IDSキャッシュシステム

クレジットまたはデビットモードの設定ができます。

### Telemetry

テレメトリー

※現時点では、使用できません。



# 毎日の清掃

## 抽出装置の清掃（毎日の清掃）

- 1 ブラシを使用してシャワープレートの周りを洗淨してください。
- 2 タッチパネルのクリーニングボタン  をタッチしてください。  
クリーニングモードになります。  
※クリーニングモードは適温になっていないと実行できません。
- 3 洗淨するグループをタッチしてOKをタッチしてください。  
※正面から見て1が左側抽出グループになります。  
2連の場合、2が右側の抽出グループになります  
※1と2にチェックを入れて、同時にクリーニングすることも可能です。

- 4 クリーニング用フィルターをフィルターホルダーに取り付け  
ティースプーン1杯（8g）専用の洗剤を入れてください。

専用の洗剤

セミオート用コーヒーライン洗淨剤

# 885267

容量 750g

お求めはマシンご購入先にお問い合わせ下さい。

- 5 クリーニング中は進行状況のゲージが進み、右までいくと画面が変わります。
- 6 クリーニング用フィルターを取外し、OKをタッチしてください。

- 7 マシンは洗淨（すすぎ）を開始します。



**注意**

すすぎ作業中は抽出装置から湯が出るのでお気をつけください。

- 8 クリーニング用フィルターをフィルターホルダーに取り付けて  
OKをタッチしてください。

- 9 マシンは洗淨（すすぎ）を開始します。

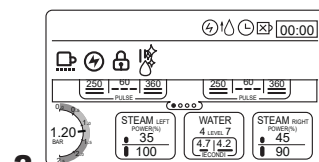
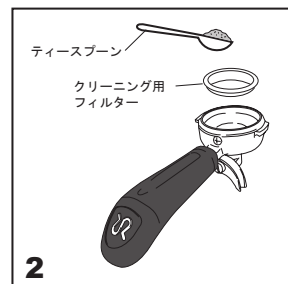
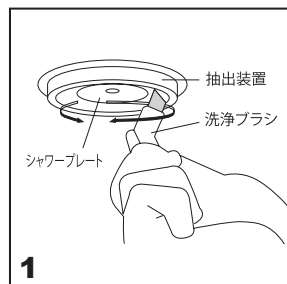


**注意**

すすぎ作業中は抽出装置から湯が出るのでお気をつけください。

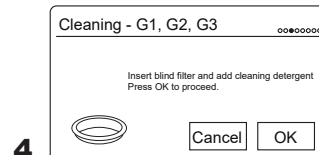
- 10 クリーニング用フィルターを取り外し、OKをタッチしてください。  
クリーニングは終了です。

- 11 フィルターホルダーの金属部、フィルター、クリーニング用フィルターを  
洗淨してください。

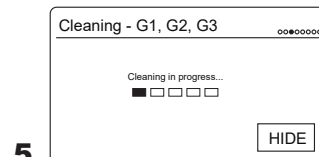


2

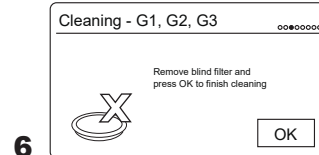
3



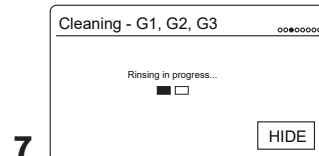
4



5



6



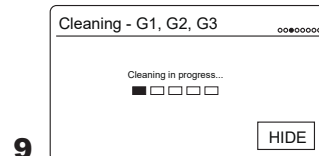
7

Cleaning - G1, G2, G3

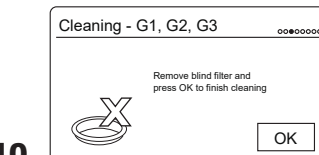
Insert blind filter and Press OK to proceed.

8

OK



9



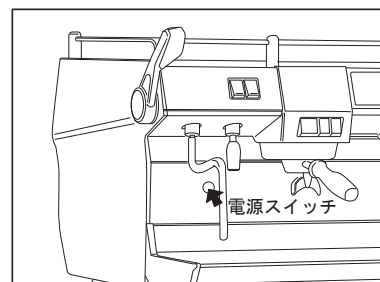
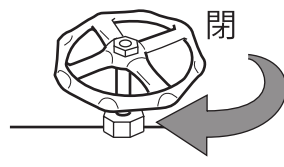
10

## 終業時について

※終業前には必ず抽出装置の清掃（毎日の清掃）を行ってください。

- 1 電源スイッチ、ボイラースイッチ、カップウォーマースwitchをOFFにしてください。

- 2 水道の元栓を締めてください。



# 仕様

---

|                   |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
|                   | <b>RANCILIOエスプレッソマシン</b>         |
| <b>モデル</b>        | <b>RS1 2GR</b>                   |
| <b>電源：消費電力</b>    | <b>単相200V（50/60Hz）：4500W</b>     |
| <b>ボイラー容量</b>     | <b>11L</b>                       |
| <b>エスプレッソ抽出能力</b> | <b>約300杯／h</b> (杯数はデミタスによるものです。) |
| <b>熱湯抽出能力</b>     | <b>約20L／h</b>                    |
| <b>初動沸き上がり時間</b>  | <b>約18分</b>                      |
| <b>寸法</b>         | <b>幅840×奥行600×高さ463mm</b>        |
| <b>重量</b> (乾燥重量)  | <b>95kg</b>                      |

|                   |                                  |
|-------------------|----------------------------------|
|                   | <b>RANCILIOエスプレッソマシン</b>         |
| <b>モデル</b>        | <b>RS1 3GR</b>                   |
| <b>電源：消費電力</b>    | <b>単相200V（50/60Hz）：5200W</b>     |
| <b>ボイラー容量</b>     | <b>16L</b>                       |
| <b>エスプレッソ抽出能力</b> | <b>約600杯／h</b> (杯数はデミタスによるものです。) |
| <b>熱湯抽出能力</b>     | <b>約30L／h</b>                    |
| <b>初動沸き上がり時間</b>  | <b>約25分</b>                      |
| <b>寸法</b>         | <b>幅1084×奥行600×高さ463mm</b>       |
| <b>重量</b> (乾燥重量)  | <b>110kg</b>                     |

注意：上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更される事がありますのでご了承ください。

[illegible]

## This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

# 安全上の注意事項

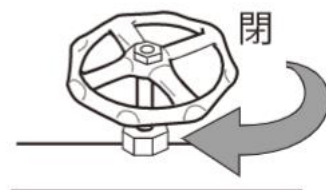
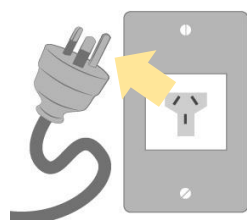
コーヒーマシンを安全にご使用いただくために営業終了後など長時間作業者がいない場合は必ず下記の作業の実施をお願い致します。

## 終業時の手順

1. マシンの電源をOFFにしてください

2. 電源プラグをコンセントから抜いてください

※電源コードをもって抜かないでください  
濡れた手で電源プラグに触れないでください



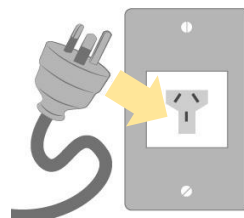
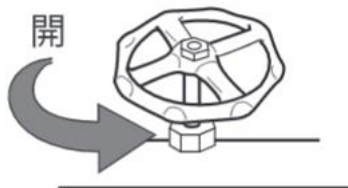
電源プラグは水がかからない場所で保管してください

## 始業時の手順

1. 止水弁を開けてください

2. 電源プラグをコンセントに差し込んでください

※濡れた手で電源プラグに触れないでください  
電源はアース付きの専用のコンセントに取り付けてください



3. マシンの電源をONにしてください

# 製品保証書

|                      |                      |    |                           |
|----------------------|----------------------|----|---------------------------|
| 型 式                  |                      | 機番 | 保証期間                      |
| お<br>客<br>様          | お名前 様                |    | お買上げ日より 1 力年              |
|                      | ご住所 〒                |    | お買 上 げ 日                  |
|                      | 電話 (       )       ー |    | *       年       月       日 |
| * 販売店名               |                      |    |                           |
| 住所                   |                      |    |                           |
| 電話 (       )       ー |                      |    |                           |

本書はお買上げ日から上記期間中に故障が生じた場合に、本書下記記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記をご参照ください。  
ご販売店さまへ：\*印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

## 無 料 修 理 規 定

- 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。無料修理をご依頼になる場合には、お買上げ店にお申し付けください。
- 保証期間内でも次の場合には有料にさせていただきます。  
(イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による、故障及び損傷。  
(ロ) お買上げ後の取付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷。  
(ハ) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷。  
(ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷。  
(ホ) 本書のご提示がない場合。  
(ヘ) 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。  
(ト) 遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する費用。
- この製品の補修用性能部品の保有期間は製造打切後 5 年です。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。  
※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。  
従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

### ラッキ-コ-ヒ-マシン 株式会社

|           |                                     |                                   |
|-----------|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 本 社       | 〒658-0023 神戸市東灘区深江浜町95番             | TEL(078)451-8300 FAX(078)451-5777 |
| 東京本部      |                                     |                                   |
| 広 域 営 業 部 | 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル | TEL(03)5400-3483 FAX(03)5400-5724 |

| 営業所              |                                      |                                   |  |
|------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|--|
| 札 幌 営 業 所        | 〒004-0005 札幌市厚別区厚別東五条1丁目4番26号        | TEL(011)898-3636 FAX(011)897-1467 |  |
| 東京営業所/東京ショールーム   | 〒105-0004 東京都港区新橋6丁目1-11 Daiwa御成門ビル  | TEL(03)5400-5720 FAX(03)5400-5723 |  |
| 名古屋営業所/名古屋ショールーム | 〒451-0046 名古屋市中西区牛島町5番4号             | TEL(052)587-7678 FAX(052)587-7677 |  |
| 大阪営業所/大阪ショールーム   | 〒537-0001 大阪市東成区深江北3丁目5番7号           | TEL(06)4259-2655 FAX(06)4259-2660 |  |
| 福岡営業所            | 〒813-0062 福岡市東区松島6丁目2-1              | TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356 |  |
| 福岡ショールーム         | 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1丁目9-3 博多駅前シティビル | TEL(092)292-0335 FAX(092)292-0356 |  |